

きもの豆知識

雑誌掲載の笠仙浴衣

毎年夏の浴衣の定番の笠仙浴衣は多くの雑誌やメディアに掲載されていますが、本年度掲載柄で当店で仕入れをしたものを紹介します。



七緒 2020summer vol62
16、17 ページ→

輪つなぎの柄がかわいらしい笠仙の綿紅梅のゆかた。抽象的な柄なので帯とのコーディネートがしやすく、年齢問わず着ることのできるのが魅力です。



↑美しいキモノ 2002 付録『2020 最旬のゆかた』
11 ページ

綿紅梅の生地に、手差しで彩色した綿紅梅型絵染小紋。白地に立葵の柄で大人っぽく夏を彩ります。衿を付けて着物風な着こなしもグッドです。



歌舞伎のススメ ~歴代の市川團十郎③~

少しずつ色々なことがもとに戻りつつあります。8月には歌舞伎が再開され、『連獅子』『棒しばり』『吉野山』『与話情浮名横櫛』が上演されます。本調子になるまであと少しの辛抱です。さて、先月の続きです。7代目(1791~1859年)團十郎は6歳で『暫』を演じる早熟で「歌舞伎十八番」を制定したことでも有名です。その長男の8代目(1823~1854年)は格別の美貌といわれましたが、若くして謎の自殺を遂げます。亡くなった後も人気は衰えず、お墓には多くの女性が群れを成して参拝したそうです。そのあと、7代目の5男が9代目(1838~1903年)を襲名します。『劇聖』といわれた9代目ですが、若いころはあまり認められず、大根役者といわれていたようです。また、天覧歌舞伎などを実現し初代市川左團次などと共に『團菊左』と呼ばれ人気になります。9代目の長女と結婚して婿養子になった10代目は30才前で突然役者を志し、途絶えていた歌舞伎18番を復活させますが、10代目(1882~1956年)を襲名するのは亡くなった後という團十郎の歴史の中でも稀有な存在です。11代目(1962~1965年)は7代目松本幸四郎の子として生まれ、弟は初代松本白鷗、2代目尾上松緑、まだまだ未熟だったがスケールの大きい演技に、市川三升から要望があり、市川家に養子に行きます。1962年に60年以上空白だった11代目の名跡を継ぎますが、わずか3年後になくなってしまいます。そして、皆さんの記憶にも新し12代目へとつながっていきます。



あそびの玉手箱



7月の竹次郎ライトアップします。

と き 7月25日(土) 26日(日)

土日の2日間8時まで延長営業します。
(23日、24日、27日は通常営業です。)
※雨の場合ライトアップは中止となります。

7時ぐらいから暗くなってきます。普段と違った竹次郎を体感して下さい。

~レンタルギャラリー~

趣きある和の空間に作品を展示してみませんか?

趣のある和の空間で、作品を飾ってみませんか?個人の作品から、趣味の教室(お花、写真、書道、絵画、手芸など)の作品展など、文化・芸術を育む場を提供したいという思いから、竹次郎カフェを開催の日程(毎月5日間)に限り、レンタルギャラリーとしてお使い頂きます。

レンタル期間: 竹次郎カフェ開催日(毎月5日間)
料 金 : 1500円(5日間)

※カフェ開催日は事前にお問合せ下さい。

☎ 0563-35-0039 大橋まで

着付教室 12回

1回1000円

かわちやの着付教室は、それぞれの目的やスケジュールに合わせたカリキュラムを組んでいきます。

かわちやの
ワンポイント着付教室
1,000円
半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。

お気軽にご相談ください。
お問い合わせは 大橋幸子まで
TEL 0563-35-0039

竹次郎~ TAKEJIRO CAFE ~ コラム



6月のカフェでは天野農園のプチトマトかき氷と氷ぜんざいの新作が登場しました。

氷ぜんざいは9月までありますが、プチトマトは7月でなくなりそうなので興味のある方は7月にぜひお越しください。

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

ギャラリーでは

めもと曼荼羅あーと展

7月23日(木)~27日(月)
夏物大バーゲンを開催します。